

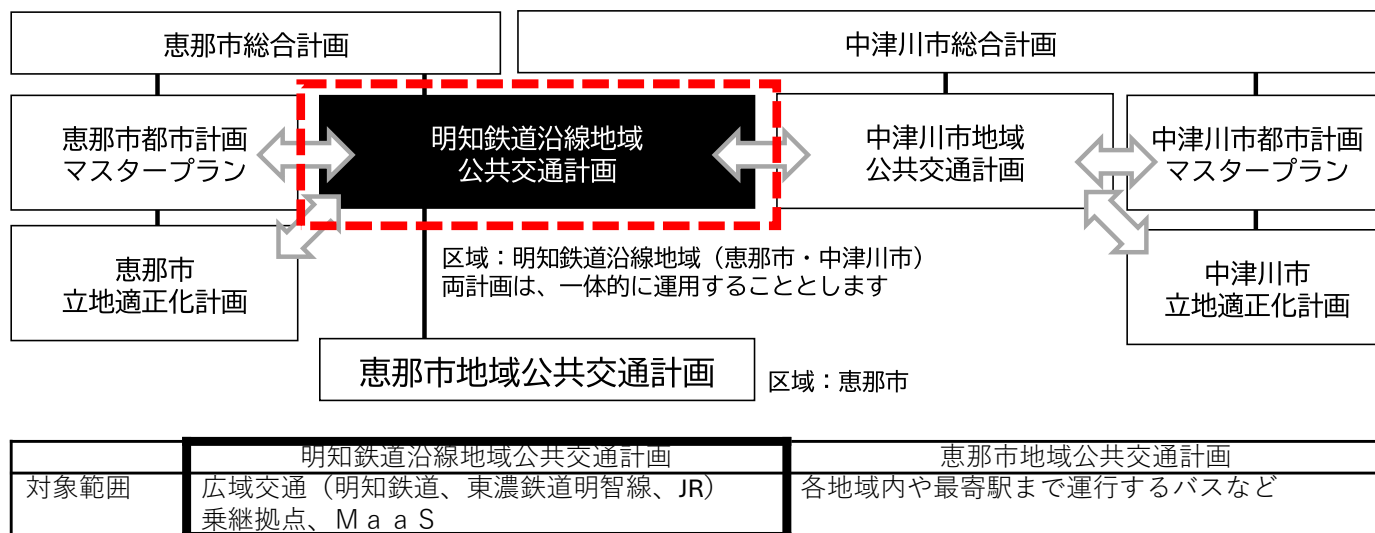
令和8年度で計画最終年を迎える、明知鉄道沿線地域公共交通計画の次期計画に向けた改正を実施

1. 計画策定期間

- 計画期間 : 令和9年4月～15年度（7カ年）
- 計画策定期間 : 令和7年度～令和8年度

内容	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	...
恵那市総合計画	既存計画	基本構想 計画期間：令和8年～令和27年度（20年間）								
		基本計画4年間				基本計画4年間				
公共交通計画	既存計画	計画期間：令和9年度～令和15年度（7カ年）								
				中間見直し						

2. 本計画の位置づけ



3. 本計画の区域

計画の区域は「恵那市」
および「中津川市阿木地域」



地域公共交通計画策定に向けた流れと本日の議論

令和
7年度

令和8年1月21日 第2回 協議会
現状確認・課題・方向性の整理

令和8年4月～5月 第1回地域検討会（13地区）以降随時開催

令和8年5月 事業者ヒアリング

令和8年6月10日 第1回 協議会 現状確認・課題・方向性の整理
策定方針（案）、アンケート

本日

令和8年6月～8月 アンケート実施・集計

令和8年9月 第2回 協議会
アンケート結果・計画（素案）
基本方針（骨子）・目指すべき公共交通体系・施策・事業

令和8年11月 第3回 協議会
計画（案）【施策・事業】

令和9年1月 第4回 協議会 計画（案）

令和9年1月～2月 パブリックコメントの実施

令和9年3月 第5回 協議会 計画（案）※パブリックコメントの内容に応じて実施

令和9年3月 計画策定

令和
8年度

計画策定スケジュール

▼本日

内容	11月	12月	R8.1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R9.1月	2月	3月	4月	
法定計画	■計画期間：平成31年～令和8年度（8カ年）																		■新計画
	■評価指標・事業実施状況（現状診断） ■事例収集					■策定方針（案）			■アンケート集計			■計画（案）			■計画（最終）		■計画策定		
	■地域交通が目指す姿の設定								■アンケート集計			■計画（案）							
	■データ整理											■計画（案）							
協議会																			
	■1/21 協議会（現状確認・課題・方向性の整理） ■6/10協議会 内容検討（策定方針（案）） ■協議会②（計画素案） ■協議会③（計画案） ■協議会④（計画策定）																		
地域																			
	■地域検討会の開催①（現状把握・意見交換） ■アンケート調査 ■地域検討会の開催②（見直しの方針） ■地域検討会の開催③（計画案説明） ■パブリックコメント																		
庁内																			
	■（仮称）移動手段連絡会議① ■（仮称）移動手段連絡会議② ■（仮称）移動手段連絡会議③																		

地域検討会の開催状況

地区	会議体	開催日
笠置	笠置地域協議会常任委員会	令和8年4月14日
串原	串原地域自治区運営協議会 支え合うまちづくり部会	4月15日
三郷	三郷地域三役会議	4月17日
大井	大井地域自治区運営協議会役員会	4月21日
東野	東野地域自治区運営協議会役員会	4月22日
上矢作	上矢作地域公共交通会議	4月22日
中野方	中野方移動手段検討会	4月22日
岩村	岩村地域自治区運営協議会役員会（2回目以降：地域検討会）	4月22日
飯地	飯地地域自治区運営委員会	4月23日
長島	長島町移動手段検討委員会	4月28日
武並	武並町移動手段検討委員会	4月28日
山岡	山岡地域公共交通検討会	5月20日
明智	明智地域自治区運営協議会（2回目以降：安心部会）	5月19日

当地域の公共交通の現状の課題や問題点

○市民の皆様からいただいたご意見

項目	内容	①	②	③	④
バス	【時刻】 ・日中や帰宅時にバスの本数が少ない（無い） ・観光地に向かう希望の時間にダイヤが無い ・回送車両の有効活用（笠置）	○	○	○	○
	【路線】 ・まちなか巡回バスの延伸 ・坂の上にある団地にバスを運行して欲しい ・利用の少ない便の時間帯や路線の変更が必要（三郷） ・便は確保されているものの利用が少ない（串原）	○	○	○	○
	【バス停】 バス停の新設及び移設、高齢者は自宅からの利用を希望（山岡）	○	○	○	○
	【自動運転バス】 今後の担い手不足を補う運行として田舎こそ必要（中野方）				○
デマンド交通	【予約】 デマンドの予約が面倒		○	○	
	【時刻】 ・利用した時間に合わない ・ミーティングポイント間が移動できないのが不便	○		○	
	【運行】 地域を超えた運行を希望（山岡）、山間部の需要確認（上矢作）	○			○
鉄道	【時刻】 本数が少ない、遅い時間帯に便が欲しい 【利用者】 学生の利用が減っている		○		○
タクシー	【配車】 ・深夜帯にタクシーがない ・依頼しても希望の時間に利用できない ・観光地にタクシーがない（明智、岩村）			○	○
有償運送	【路線】 ・持続可能な運行とするため、移送サービスから有償運送化の調査検討（中野方）				○
利用促進	・バスの乗り方や時刻、ワンコインパスポートなどの制度を知らない人が多いので利用促進が重要（三郷、中野方） ・モデルコースの作成による周知の強化が必要（上矢作）				○

①コンシェルジュに寄せられたご意見、②満足度調査時に寄せられたご意見、③市に寄せられたご意見、④地域検討会出された意見

事務局が捉える主な課題や問題点、今後整理が必要な事項

項目	内容
バス	<ul style="list-style-type: none">・部分的な交通空白地のカバーができていない・地域住民を意識したバスダイヤであり来訪者（観光客）に対して十分なダイヤや運行本数、運行方法（デマンド）となっている・利用実態に応じたバス路線の再編に向けた整理が必要
明知鉄道	<ul style="list-style-type: none">・利用者減少（コロナ前比）・駅のバリアフリー化や行き違い施設の具体的な検討ができていない
タクシー	<ul style="list-style-type: none">・公共交通計画に東濃東部交通圏タクシー準特定地域計画との明確な位置づけがない
シェアサイクル	<ul style="list-style-type: none">・事業を推進するにあたり、公共交通計画に明確な位置づけができていない※まちなか巡回バスの補完として実施しているが、観光利用の推進も実施している
多様な移動手段	<ul style="list-style-type: none">・主要駅におけるシームレスな移動手段の提供や整備ができていない
広域	<ul style="list-style-type: none">・リニア岐阜県駅から恵那市への移動手段について具体的な検討ができていない
情報発信	<ul style="list-style-type: none">・バス鉄道以外の地域の移動手段について、個々で情報発信を行っており、十分な情報統括ができておらず、分かりやすい情報発信ができていない（福祉、ボランティア輸送、病院バス など）
共通	<ul style="list-style-type: none">・担い手不足（確保）
MaaS	<ul style="list-style-type: none">・デジタル定期券やデマンド予約など、一部DX化を図っているが検索予約決済など一括で行えるサービス提供ができていない。

前回の会議時のアンケートでいただいたご意見

項目	内容
①近い将来の理想の公共交通はどうあってほしいか	<ul style="list-style-type: none">・ 高校生や高齢者など、交通弱者の移動手段を確保する・ 誰もがいつでもどこでも移動できる利便性の高い交通体系・鉄道・ バスを将来にわたり持続可能に維持することが重要・ バスは公営性を重視し、過度に収益性を求めない運営・ 一部路線での自動運転バス等の新技術導入
②この地域の公共交通の課題や問題点	<ul style="list-style-type: none">・ 人口減少・高齢化・ 人材不足の進行・ 公共交通の維持確保と財源不足・ 運転士の高齢化・ 不足および都市部への流出・ 観光客の二次交通（駅から目的地まで）の不足・ 観光による収益を地域に還元する仕組み不足
③理想の公共交通に近づくために、どんなことが必要か。	<ul style="list-style-type: none">・ 地域全体で運転士確保・育成を支援する体制づくり（待遇・労働環境改善含む）・ 鉄道・バス・地域交通を一体で考える広域的な連携・ 休日や観光イベントに対応したダイヤ・便数の充実・ 観光需要を取り込むための体験型企画（イベント列車など）・ 長時間拘束の是正など、働き方改革による人材流出防止

次期計画に向けた策定方針（案）

1. 策定方針の趣旨

本方針は、令和8年度で計画期間が満了する明知鉄道沿線地域公共交通計画の次期計画策定に向け、検討の進め方および当面整理すべき考え方を共有することを目的とする。当地域では、人口減少や高齢化の進行に加え、鉄道・バス・タクシー等を担う人材の不足、広域的な移動需要の変化などにより、公共交通を取り巻く環境が一層厳しくなっている。

こうした状況を踏まえ、次期計画では、リニア中央新幹線開業を見据えた広域的な移動の中で、明知鉄道を主軸とした沿線地域の公共交通を将来にわたりどのように支え、活かしていくかについて、関係自治体・交通事業者等と共通認識を形成しながら検討を進めていく。



2. 計画策定にあたって重視する視点

○公共交通を「支える」「活用する」沿線地域の関わりの促進

- ・地域の住民や関係団体が、公共交通を自分事として支え、利用する意識の醸成
- ・通学・通院・観光など、多様な利用目的に応じた公共交通の活用促進

○明知鉄道を主軸とした持続可能な公共交通ネットワークの形成

- ・明知鉄道やバスの利用者動向や経営状況、沿線地域の将来像を踏まえ、地域公共交通のネットワークの再構築や利便性向上のためのインフラ整備の実施検討（利便増進事業、鉄道事業再構築事業などの活用）
- ・鉄道・バス・タクシー等を含む担い手不足や高齢化を踏まえ、限られた人材・財源を前提とした、サービス提供体制の安定化と交通手段間の役割分担・効率的な運用を図るとともに、多様な移動手段の活用により交通空白地の解消
- ・リニア中央新幹線開業を見据え、中津川市・恵那市をはじめとする広域的な移動環境の整理

○観光客（来訪者）や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備

- ・高齢者や交通に不慣れな人、観光客・来訪者でも、安心して利用できる移動環境の確保
- ・自動運転技術やDX、MaaSの考え方を活用し、分かりやすく使いやすい交通・情報環境の整備

アンケート及びヒアリング調査

市民や利用者、交通事業者等の実態やニーズを把握するため、各種アンケートおよびヒアリング調査を実施します。日常の移動実態や公共交通の利用状況、課題認識などを幅広く収集し、計画策定の基礎資料とします。多様な立場からの意見を踏まえ、地域に即した持続可能な公共交通の方向性を検討していきます。

アンケート種別	対象者	実施次期	主な確認事項
市民アンケート	<p>恵那市民及び中津川市阿木地区の方</p> <p>①無作為で恵那市民に調査用紙を郵送</p> <ul style="list-style-type: none"> ・70歳以上：用紙の返信又はWEB (QR) で回答 ・70歳以下：WEB (QR) で回答 <p>※中津川市阿木地区は地域を通じて配布</p> <p>②広報えな7月号にアンケート依頼とQRコードを掲載</p>	<p>6月下旬郵送</p> <p>7月中旬〆切</p> <p>8月中旬集計</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の移動手段 ・公共交通の利用状況 (鉄道、バス、タクシー、シェアサイクル) ・公共交通が必要となる具体的な場面・利用シーン ・公共交通のデジタルサービスの認知利用度 ・自動運転バス ・ボランティア運転手のなり手 ・免許返納の条件 <p>※回答者にはシェアサイクルのクーポンコードを配布 (560円 / 2時間分)</p>
事業者アンケート・ヒアリング	恵那市及び中津川市阿木地区の交通事業者 (空白地有償運送含む)	6月中	<ul style="list-style-type: none"> ・運転手不足の現状や課題 ・交通事業者からみる既存路線の現状や課題 (実態評価、再編案など)
高校生アンケート	恵那高校、恵那農業高校 恵那南高校、阿木高校	9月頃	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の通学手段 (公共交通の利用状況) ・公共交通のデジタルサービスの認知利用度 ・乗継・待合環境の現状やニーズ
中学生アンケート	恵那市内の中学3年生 阿木地区の中学3年生	9月頃	<ul style="list-style-type: none"> ・高校に進学した場合の想定される通学手段 ・公共交通のデジタルサービスの認知利用度